

2月10日

テーマ：「^{しんこう}信仰の^{けいしょう}継承」

聖書箇所：^{てがみだいに}テモテへの^{しょう}手紙^{せつ}第二 1章 1節～2節

◆今日のみことば

^{あい}愛する子^{ちち}テモテへ。^{かみ}父なる神^{しゅ}および私たちの主^{めぐ}キリスト・イエスから、恵みとあわれみ
と^{へいあん}平安がありますように。 ^{てがみだいに}テモテへの^{しょう}手紙^{せつ}第二 1章 2節

◆メッセージ

テモテへの^{てがみだいに}手紙^{じつ}第二は、実はパウロさんが書いた^か最後^{さいご}のお手紙^{てがみ}になりました。というのも、このときパウロさんはローマで^{ろうや}牢屋^{ころ}につながれていて、まもなく殺されようとしていたからです。はげしい^{はくがい}クリスチャンへの^{はじ}迫害^{はくがい}が始まろうとしていました。パウロさんは、このお手紙^{てがみ}の中で、迫害^なの中^{なか}でもイエスさまを^{しん}信じることをやめてしまわないように、ますます^{ゆうかん}勇敢^{ゆうかん}にイエスさまのことを^{ひとびと}人々に^{つた}伝えていくようにはげましています。

さて、パウロさんはこのお手紙^{てがみ}を「^{あい}愛する子^こテモテへ」と書いてテモテさんに宛^あてました。どうしてでしょう？それはテモテさんこそ、パウロさんと^{こころ}心^{ひと}を一つにしてイエスさまのことを^{つた}伝えてくれる^{さいこう}最高^{なかま}の仲間^{なかま}だったからです。テモテさんは^{じゅんすい}純粋^{つよ}で強い^{しんこう}信仰^もの持ち主^{ぬし}でした。パウロさんとはよくいっしょに^{でんどうりょこう}伝道旅行^{でんどうりょこう}に出かけました。^{とちゅう}途中^{はくがい}、迫害^{こんなん}や困難^まにあっても^ま負け^まません。そしてたくさん^{ひと}の人がパウロさんから^さ去^いって行っても、テモテさんは^{さいご}最後まで^いパウロさん^いについて行っただけです。パウロさんは、このテモテさんのために、^{かみ}神さま^{めぐ}からの恵み^{へいあん}とあわれみ^{へいあん}と平安があるようにと祈^{いの}っています。

テモテさんのこの^{じゅんすい}純粋^{しんこう}な信仰^{しんこう}は、どこから^き来た^きのでしょうか。実はテモテさんのおばあちゃん、おかあさんから^う受け^つ継^ついだものでした。テモテさんは小さいころから^{かみ}神さま^{れいはい}を礼拝^{せいしよ}し、聖書^{せいしよ}のおはなしをたくさん^き聞いて、お祈^{いの}りをして^{そだ}育^{そだ}ちました。そしてその後^{ごお}大きくなってから、^{せかいじゅう}世界中^{せかいじゅう}でイエスさまのことを^{つた}伝えるパウロさんに出^あ会^あって「^{せかいせんきょう}世界宣教^{せかいせんきょう}」チームの仲間^{なかま}になったのです。

あなたに^{しんこう}信仰^{しんこう}のバトン^{ひと}をわたしてくれた人はだれですか？おとうさんですか？おかあさんですか？お友^{とも}だちですか？^{かみ}神さま^{かみ}は、あなたにこの^{しんこう}信仰^{しんこう}のバトン^うを受け^うとってほしいと^{ねが}願^{ねが}っています。そしてテモテさんのように^{じゅんすい}純粋^{しんこう}な信仰^{そだ}を^{そだ}育^{そだ}てて、どんな時^{とき}でもそのバトン^{とき}をしっかりとにぎって、^{さいご}最後^{さいご}まで^{はし}走り^{はし}ぬく^{ひと}人^{ひと}になってください。

◆お祈り

「^{てん}天^{とう}のお父^{とう}さま。わたしもテモテさんのように^{しんこう}信仰^{しんこう}のバトン^うを受け^う取^とって、^{さいご}最後^{さいご}まで^{はし}走り^{はし}抜^ぬくことができますように。」

(国外宣教師・台湾 齋藤千恵子)

